

## はじめに

徳島視覚支援学校及び徳島聴覚支援学校におきましては、従前より、情報の獲得に困難さを伴う視覚及び聴覚障がい児に対して ICT を活用した教育が有効ではないか、との考えから導入を模索してまいりました。

そのような中、平成 24 年度・25 年度の 2 年間、「公益財団法人パナソニック教育財団」の指定研究を受け、盲学校（現徳島視覚支援学校）において「ICT を活用した視覚障害児の学習環境の構築と教育実践」に関する研究を行いました。この研究を通して、視覚障がいのある生徒に対する ICT 活用の効果が確認されたため、平成 26 年度・27 年度は、文部科学省から「支援機器等教材を活用した指導方法充実事業」の委託を受け、徳島視覚支援学校と徳島聴覚支援学校の両校で研究を推進することといたしました。

この 2 年間の委託研究におきましては、主として iPad を取り上げ、幼児・児童生徒の「学習場面」と「生活場面」における効果的な活用方法、巡回相談等の「地域支援」における活用方法、さらには iPad の活用による「教員の指導力の向上」等、教育活動全般における導入を試行いたしました。

具体的には、文字等の拡大や録画映像のスロー再生による視覚障がい児への支援、図表等の提示による情報伝達や音声の文字変換による聴覚障がい児への支援、さらには保健指導における体重管理など、多様な場面での導入を試み、効果を検証いたしました。

本活用事例集は、iPad を活用した授業の景色とアプリの画面を写真で紹介いたしますと共に、幼稚部、小・中学部、高等部の授業における具体的な活用方法について、指導案を添えて掲載いたしております。さらに、保健室や寄宿舎における活用の工夫も紹介させて頂きました。

両校におきましては、この研究を通して、iPad を始めとする支援機器の導入と効果的な活用が、多様な教育的ニーズを持つ幼児・児童生徒の情報の獲得と主体的な学びにつながることを実感いたしました。

関係各位の皆様には、本活用事例集を御高覧賜り、御指導を頂ければ幸いです。

最後になりましたが、このような実践研究の機会を与えて下さいました文部科学省を始め、徳島県教育委員会、御指導・御助言を賜りました広島大学の氏間和仁先生、四国大学の前田宏治先生、ICT サポーターの皆様にご挨拶申し上げます。

平成 28 年 2 月

徳島県立徳島視覚支援学校  
徳島県立徳島聴覚支援学校  
校長 富樫敏彦